

～山の薬剤師だより 令和6年9月号～

南海トラフ地震への備え

NPO 法人山の薬剤師たち

大林秀樹

8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。南海トラフ地震が想定される震源域では大規模地震の発生する可能性が普段より高まったことにより、政府は【南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)】を発表しました。このような情報は初めて発令され、皆さんは何をどうすればよいのか困惑されたと思います。

まず【南海トラフ地震臨時情報】が発表される条件とは、①南海トラフ沿いで異常な現象が確認され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合、②観測された異常な調査結果を発表する場合とあります。また、【南海トラフ地震臨時情報】は3つの種類に分類され、具体的な行動を下記にお示しします。

関連性のある地震発生からの時間	巨大地震警戒	巨大地震注意	調査終了
2時間程度	<ul style="list-style-type: none">・日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生すればすぐに避難する準備・地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は事前避難	<ul style="list-style-type: none">・日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生すればすぐに避難する準備	<ul style="list-style-type: none">・大規模な地震発生の可能性が無くなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。
1週間	<ul style="list-style-type: none">・日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生すればすぐに避難する準備	<ul style="list-style-type: none">・大規模な地震発生の可能性が無くなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。	
2週間～	<ul style="list-style-type: none">・大規模な地震発生の可能性が無くなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。		

(参考；内閣府 防災情報のページより抜粋 一部改変)

現在の状況は、巨大地震注意より2週間以上が経過しており、地震の発生に注意しながら通常の生活を送りましょう！という段階です。今回の発表を受けて皆さんは、飲料水、非常食や防災グッズを取り揃えたり、家具などを固定されたりしたと思います。これらの準備のみならず、持病があり薬物治療を受けておられる方は、更に10日分ほどのお薬やお薬手帳を持ち出せるようにしておきましょう。南海トラフ地震が起きた際には九州から東海まで広域に被害が広がります。そのため、徳島県下の都市部が被災し、山間部や岬の付近などのへき地へ支援の手が届くまで、想定外の時間を要することが考えられます。被災後に持病を悪化させない準備をしておきましょう。

